

第 12 号様式 (第 6 条関係)



平成 30 年 4 月 2 日

那覇市議会議長

翁長 俊英 様

議員名 中村 圭介



平成 29 年度政務活動費収支報告について

那覇市議会政務活動費の交付に関する条例第 8 条第 1 項の規定に基づき、別紙のとおり平成 29 年度政務活動費収支報告書を提出します。

記

平成 29 年 4 月分 ~ 平成 30 年 3 月分

平成 29 年度政務活動費収支報告書

議員名 中村 圭介

1 収 入

政務活動費 1,080,000

2 支 出

(単位：円)

科 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費	0	
研 修 費	0	
広 報 費	204,120	ラジオ番組制作費 ラジオ番組アプリ管理費
広 聴 費	0	
要 請 ・ 陳 情 活 動 費	0	
会 議 費	12,960	勉強会開催費用（資料印刷代）
資 料 作 成 費	0	
資 料 購 入 費	44,776	書籍代
人 件 費	0	
事 務 所 費	0	
合 計	261,856	

3 残 額 818,144 円

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

会計帳簿

議員名： 中村 圭介

項目	整理 番号	事項	年 月 日	充当額 (円)	備考
広報費	1	ラジオ番組制作費 (5月分) ・「中村圭介対話の時間」	29 5 1	30,240	按分率70%
	2	” (6月分) ”	29		
	3	” (7月分) ”	8 29		
	4	” (8月分) ”	29		
	5	” (9月分) ”	9 27		
	6	” (10月分) ”	11 7		
	7	” (11月分) ”	30 1 30		
	8	” (12月分) ”	30		
	9	” (1月分) ”	30		
	10	” (2月分) ”	30		
	11	” (3月分) ”	2 27		
	12	ラジオ番組アプリ管理費 (10月分) ”	29 11 7	45,360	按分率70% (7,560円×6ヵ月)
	13	” (11月分) ”	30 1 30		
	14	” (12月分) ”	30		
	15	” (1月分) ”	30		
	16	” (2月分) ”	30		
	17	” (3月分) ”	2 27		
会議費	1	勉強会開催費 (資料印刷代) ・「子どもの貧困対策事業について」	29 8 8	12,960	
資料購入費	1	書籍代	29 5 19	2,484	
	2	”	8 17	2,700	
	3	”	10 17	11,340	
	4	”	12 8	5,896	
	5	”	30 3 15	22,356	
合 計				261,856	

備品管理台帳

会派または議員名 中村 圭介

番号	名称・型番	購入金額 (充当額)	購入日	耐用 年数	監理責任 保管場所	廃棄・譲渡日 理由	備考
1	パソコン Pavilion15-n200スタンダードモデル F7Q55PA #ABJ	71,064円 (7,106円)	H26.5.26	4	なはの翼f協働/無所属の会/維新・無所属の会 那覇市役所4階		複数会派の共有物として購入。
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

広報費

- 【項目】 調査研究費 研修費 広報費 広聴費 要請・陳情活動費
 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費

領収証

平成 29 年 5 月 1 日

中村 圭介 様

¥ 21,600 -

但し、番組制作費(5 月分)として
上記正に領収いたしました

株式会社エフエム那覇
沖縄県那覇市首里池端町34-2F
TEL:098-860-0261



¥21,600 → ¥15,120

領 収 証

中村 圭介 様

No. _____

金額

¥ 21 600 -

但「中村圭介 対話の時間」番組制作費(6月分)として
2017年 5 月 29 日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額(%)

スタートライン株式会社

〒903-0824 那覇市首里池端町34番地2F



GRI1416

¥21,600 → ¥15,120

ラジオ番組「中村圭介対話の時間」制作費

按分率 70 %

充当額 30,240 円

- 【項目】 調査研究費 研修費 広報費 広聴費 要請・陳情活動費
 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費

領収証

平成 29 年 8 月 29 日

中村 圭介 様

¥10,800 -

但し、番組制作費(7 月分)として
上記正に領収いたしました



スタートライン株式会社
沖縄県那覇市首里池端町34-2F
TEL:098-882-2500

放送回数が少なかつたため ¥10,800 → ¥7,560

領収証

平成 29 年 8 月 29 日

中村 圭介 様

¥21,600 -

但し、番組制作費(8 月分)として
上記正に領収いたしました



スタートライン株式会社
沖縄県那覇市首里池端町34-2F
TEL:098-882-2500

¥21,600 → ¥15,120

- 【項目】 調査研究費 研修費 広報費 広聴費 要請・陳情活動費
 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費

領収証

平成 29 年 9 月 27 日

中村 圭介 様

¥ 21,600

但し、番組制作費(9 月分)として
上記正に領収いたしました

スタートライン株式会社
 沖縄県那覇市首里池端町34-2F
 TEL:098-882-2500



¥ 21,600 → ¥ 15,120

領収証

平成 29 年 11 月 7 日

中村 圭介 様

¥ 21,600 -

但し、番組制作費(10 月分)として
上記正に領収いたしました

スタートライン株式会社
 沖縄県那覇市首里池端町34-2F
 TEL:098-882-2500



¥ 21,600 → ¥ 15,120

【項目】

調査研究費

研修費

広報費

広聴費

要請・陳情活動費

会議費

資料作成費

資料購入費

人件費

事務所費

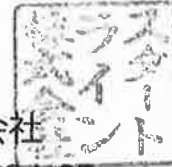
領収証

平成 30 年 1 月 30 日

中村 圭介 様

¥ 21,600 -

但し、番組制作費(^{H29} 11月分)として
上記正に領収いたしました



スタートライン株式会社
沖縄県那覇市首里池端町34-2F
TEL:098-882-2500

¥ 21,600 → ¥ 15,120

領収証

平成 30 年 1 月 30 日

中村 圭介 様

¥ 21,600 -

但し、番組制作費(^{H29} 2月分)として
上記正に領収いたしました



スタートライン株式会社
沖縄県那覇市首里池端町34-2F
TEL:098-882-2500

¥ 21,600 → ¥ 15,120

- 【項目】 調査研究費 研修費 広報費 広聴費 要請・陳情活動費
 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費

領収証

平成 30 年 1 月 30 日

中村 圭介 様

¥ 21,600-

但し、番組制作費(1 月分)として
上記正に領収いたしました

スタートライン株式会社
 沖縄県那覇市首里池端町34-2F
 TEL:098-882-2500



¥21,600 → ¥15,120

領収証

平成 30 年 1 月 30 日

中村 圭介 様

¥ 21,600-

但し、番組制作費(2 月分)として
上記正に領収いたしました

スタートライン株式会社
 沖縄県那覇市首里池端町34-2F
 TEL:098-882-2500



¥21,600 → ¥15,120

平成 29 年度

議員名 中村 圭介

整理番号 11

- 【項目】 調査研究費 研修費 広報費 広聴費 要請・陳情活動費
 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費

領 収 証 中村 圭介^v 様 No. _____

金額 ¥21,600

但、番組制作費にて (H30 3月分にて)
2018年 2月 27日 上記正に領収いたしました

内 訳
税抜金額
消費税額(%)

スタートライン株式会社
〒903-0824 那覇市首里池端町34番地2F



GR1417

¥21,600 → ¥15,120

按分率 70 % 充当額 15,120 円

平成 29 年度

議員名 中村 圭介

整理番号

12~13

【項目】 調査研究費 研修費 広報費 広聴費 要請・陳情活動費
 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費

領収証

中村 圭介

様

No. _____

金額

¥ 10 800 —

但し、下記管理費として (10月分)

2017年 11月 7日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額(%)

スタートライン株式会社

〒903-0824 那覇市首里池端町34番地2F

GR1416

¥10,800 → ¥7,560

領収証

平成30年 1 月 30日

中村 圭介 様

¥ 10,800 —

但し、アプリ管理費(H29 11月分)として
上記正に領収いたしました



スタートライン株式会社

沖縄県那覇市首里池端町34-2F

TEL:098-882-2500

¥10,800 → ¥7,560

「中村圭介対話の時間」ラジオアプリ管理費

按分率 70 %

充当額 15,120 円

【項目】 調査研究費 研修費 広報費 広聴費 要請・陳情活動費
会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費

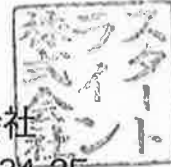
領収証

平成 30 年 1 月 30 日

中村 圭介 様

¥ 10,800 -

但し、アプリ管理費(^{H29} 2月分)として
上記正に領収いたしました



スタートライン株式会社
沖縄県那覇市首里池端町34-2F
TEL:098-882-2500

¥10,800 → ¥7,560

領収証

平成 30 年 1 月 30 日

中村 圭介 様

¥ 10,800 -

但し、アプリ管理費(1 月分)として
上記正に領収いたしました



スタートライン株式会社
沖縄県那覇市首里池端町34-2F
TEL:098-882-2500

¥10,800 → ¥7,560

「中村圭介対話の時間」ラジオアプリ管理費

- 【項目】 調査研究費 研修費 広報費 広聴費 要請・陳情活動費
会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費

領収証

平成 30 年 1 月 30 日

中村 圭介 様

¥ 10,800 -

但し、アプリ管理費(2 月分)として
上記正に領収いたしました



スタートライン株式会社
沖縄県那覇市首里池端町34-2F
TEL:098-882-2500

¥10,800 → ¥7,560

領 収 証 中村 圭介 様 No. _____

金額 ¥ 10,800 -

但し、アプリ管理費として(2月分)
2018年2月27日 上記正に領収いたしました

内 訳
税抜金額
消費税額(%)

スタートライン株式会社
〒903-0824 那覇市首里池端町34番地2F



GR1417

¥10,800 → ¥7,560

「中村圭介対話の時間」ラジオアプリ管理費

按分率 70 %

充当額 15,120 円

中村圭介対話の時間

過去の放送 タイトル

- vol.88 那覇市市民文化部まちづくり協働推進課 課長 又吉弘さんに聞く「協働推進課の活動とまちづくり協議会」 / 前編
- vol.87 NPO 法人「沖縄青少年自立援助センターちゅらゆい」代表理事の金城隆一さんに聞く「県内の不登校・引きこもり事情」 / 後編
- vol.86 NPO 法人「沖縄青少年自立援助センターちゅらゆい」代表理事の金城隆一さんに聞く「県内の不登校・引きこもり事情」 / 前編
- vol.85 犬猫殺処分ゼロを目指す那覇市議会議員連盟の改選後の臨時総会について
- vol.84 8月14日と15日に行われた「那覇市臨時会」について伺う
- vol.83 一般社団法人 daimon 代表の糸数温子さんに「社会的包摂」の意義などについて伺う
- vol.82 7月9日に行われた那覇市議選挙で当選した中村圭介に二期目の抱負や取り組むべき課題について伺う
- vol.81 元なは市民協働プラザの稲垣暁さんをお迎えして、協働プラザや那覇市の協働への取り組みの課題などを伺う / 後編
- vol.80 元なは市民協働プラザの稲垣暁さんをお迎えして、協働プラザや那覇市の協働への取り組みの課題などを伺う / 前編
- vol.79 墓地行政関連の問題等に関してお墓のプロ、一般社団法人 UTT うーとーとーおきなわ仲田英安さんに現状や課題を伺う / 後編
- vol.78 墓地行政関連の問題等に関してお墓のプロ、一般社団法人 UTT うーとーとーおきなわ仲田英安さんに現状や課題を伺う / 前編
- vol.77 那覇市の墓地行政、地域の伝統芸能継承について & 平成28年度の活動を振り返る
- vol.76 那覇市議会 2月定例会 ～ 協働によるまちづくり・公設市場の許可更新・那覇市ホームページについて 等

會議費

平成 30 年 3 月 19 日

那覇市議会議員 様

会派名 無所属の会
議員名 中村 圭介



研修会・報告会等実施報告書

政務活動費により(勉強会)・研修会・報告会を実施しましたので、下記のとおり報告します。

日 時	平成 29 年 8 月 9 日
場 所	那覇市議会会議室
参加者	14 名
内 容	那覇市の子どもの貧困対策事業の中で、子どもの居場所の委託を受けて運営している NPO 法人沖縄青少年自立支援センターちゅらゆいの金城隆一代表をお招きして、那覇市議会議員を対象に勉強会を開催した。事業の報告をはじめ、沖縄県の取組から見る那覇市の取組状況についての提言など幅広いお話しをしていただいた。
備 考	資料印刷代 ¥12,960

[所 見]

今回の勉強会は、改選後の議会で子どもの貧困対策について情報を共有する目的で全議員に呼びかけて開催した。新人を含む超党派の 14 人の議員が参加して下さったことで、本市の子どもの貧困に対する事業の概要や本市を取り巻く状況について共有できたものとする。後日、参加した議員が当該事業所に足を運び交流するなど、その後の広がりも見られたことは大きな収穫である。

那覇市議会議員各位

那覇市議会 無所属の会
中村圭介

子どもの貧困対策事業についての勉強会の開催について（ご案内）

盛夏の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、この度、那覇市の子どもの貧困対策事業について、那覇市の事業をはじめ、各地で実践と提言をされておりますNPO法人沖縄青少年自立支援センターちゅらゆいの金城隆一氏をお招きして、那覇市議会議員を対象に勉強会及び意見交換会を開催したく、各会派へご案内をさせていただきました。

勉強会では那覇市の子どもの貧困対策事業でもある「こどもの居場所 kukulu」についての事業報告をはじめ、沖縄県の取り組みから見る那覇市の取り組み状況についてなど、支援の現場のお話しながら、自治体としての支援の在り方についての提言など幅広いお話しをお伺いできる機会となっております。また、後半は意見交換の時間をもうける予定となっておりますので、ご関心に合わせて議員活動にお役立ていただけるものになると考えております。

改選後のお忙しい時期とは存じますが、下記の通り開催いたしますので、何卒ご参加いただきますようお願い申し上げます。

記

日 時 平成 29 年 8 月 9 日（水） 10:00～12:00

場 所 議会会議室（那覇市役所 4 階）

参加費 無料

以上

【項目】 調査研究費 研修費 広報費 広聴費 要請・陳情活動費
 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費

領 収 証

中村圭介[✓]

様

No. XXXXXXXXXX

★ ￥12,960-

但しコピー代金として

平成 29 年 8 月 8 日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額 12000

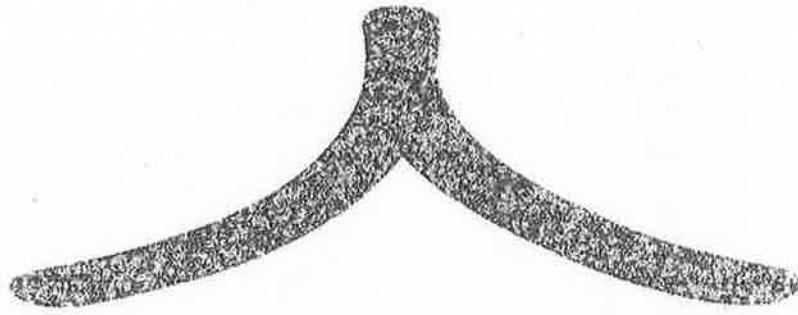
消費税額等(8%) 960

収 入
印 紙

コクヨ ウケ-55

株式会社 沖縄コピーセンター
 那覇市泉崎1丁目21番19号
 電話(098)867-4339
 代表取締役 石川元章





すべての子どもに居場所を

kukulu

事業説明資料

希望を感じられる世の中に
ちゅらゆい

沖縄の現状・・・(沖縄県子どもの貧困対策に関する検討会資料より)

- ・子どもの貧困率・・・29.9%(県調査)
- ・母子家庭等、1人親世帯の貧困率・・・54.6%
- ・離婚率・・・2.5%(全国1位)
- ・若年出生率・・・11.6%全国1位
- ・生活保護率・・・2.5%(全国5位)
- ・就学援助率・・・19.2%(全国10位)
- ・非正規就業者率・・・44.5%(全国1位)
- ・高校不登校率・・・30.3%(全国2位)
- ・高校中退率・・・2.1%(全国4位)
- ・中学卒業後の進路未決定率・・・2.9%(全国1位)
- ・高校卒業後の進路未決定率・・・15.1%(全国1位)
- ・若年無業者率・・・4.2%(全国1位)



希望を感じられる世の中に
ちゅらゆい

もう1つのリスク・・・貧困



貧困は、主に経済的な理由によって生活が苦しくなり、必要最低限の暮らしもおぼつかない様子をいう。

ノーベル経済学賞受賞者のアマルティア・センは、貧困を「潜在能力を実現する権利の剥奪」と定義した。



希望を感じられる世の中に
ちゅらゆい

相対的貧困と絶対的貧困



絶対的貧困

必要最低限の生活水準を維持するための食糧・生活必需品を購入できる所得・消費水準に達していない状態。世界銀行では1日の所得が1.25米ドルを貧困ラインとしている。

相対的貧困

OECDでは、等価可処分所得(世帯の可処分所得を世帯人数の平方根で割って算出)が全人口の中央値の半分未満の世帯員を相対的貧困者としている。相対的貧困率は単純な購買力よりも国内の所得格差に注目する指標であるため、日本など比較的豊かな先進国でも高い割合が示される。

- 相対的貧困の深刻な部分は見えにくいこと。
- 相対的貧困率・・・先進国30カ国中4位
- 子どもの貧困率・・・全国は16% 沖縄県29.9%

希望を感じられる世の中に
ちゅらゆい

時代と若者問題

1980年代後半 バブル 積極的フリーター

1986年 労働者派遣法

1998年 ひきこもり 犯罪・家族問題 「社会的ひきこもり」齊藤環著

2000年 新潟少女監禁事件 佐賀西鉄バスジャック事件

2000年代前半 若年失業者 パラサイトシングル

2004年 NEET

2005年 NHK福祉ネットワーク...ひきこもり160万人以上

2006年 ワーキングプア 労働問題 ネットカフェ難民

2009年 北九州若者の孤独死

2012年 札幌姉妹孤立死

2015年 生活困窮者自立支援法(厚労省)
子どもの貧困対策の推進(内閣府)



Jobカフェ

自立塾

サポステ



PSモデル
事業

無料塾

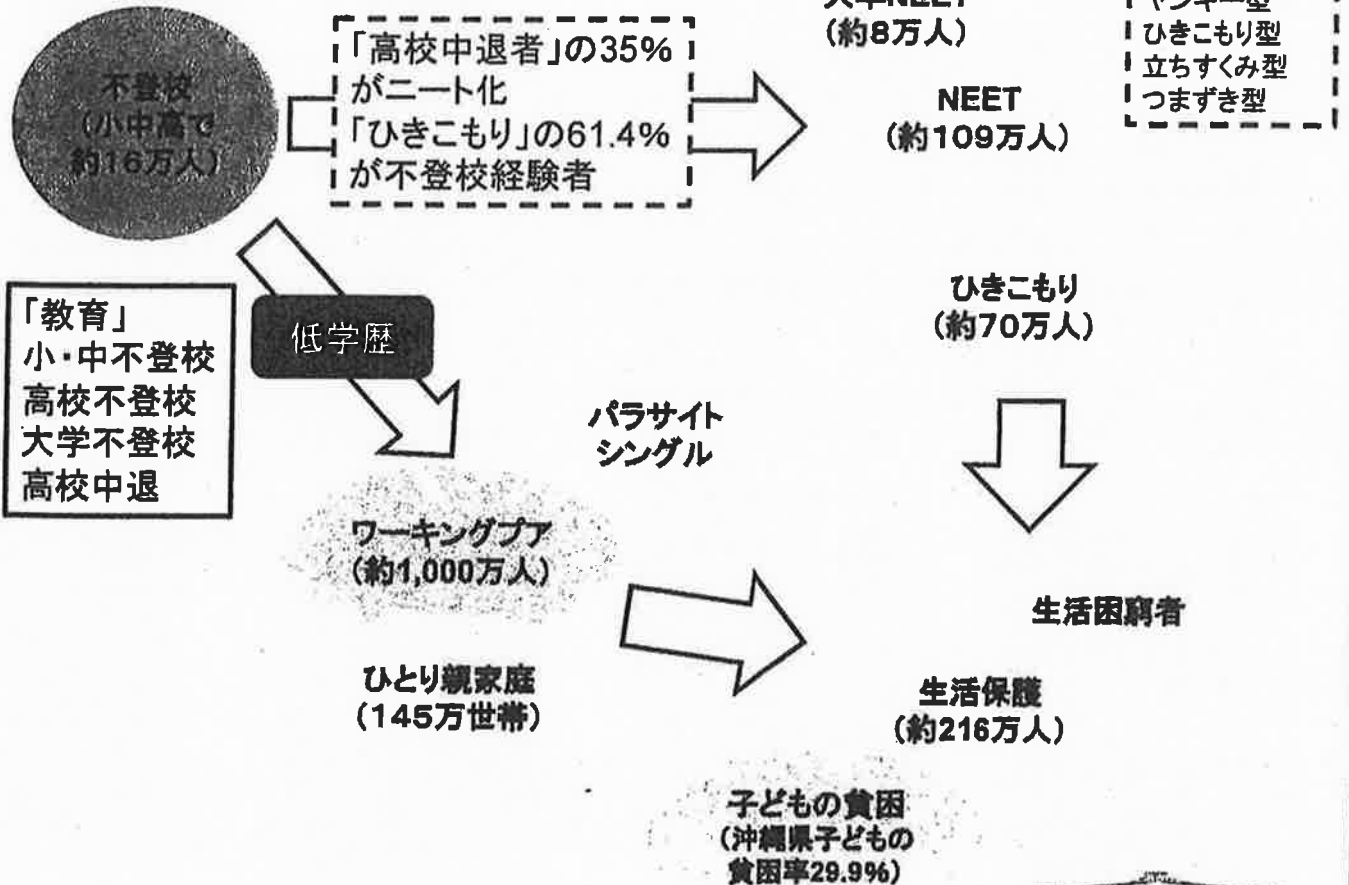


2015 全国のニートは109.3万人
(第一生命経済研究所)

1年以上失業状態にある人は99
万人(2009年秋総務省調査)

希望を感じられる世の中に
ちゅらゆい

若者支援... 相関図



希望を感じられる世の中に
ちゅらゆい

子どもの包括的自立促進支援事業スキーム図

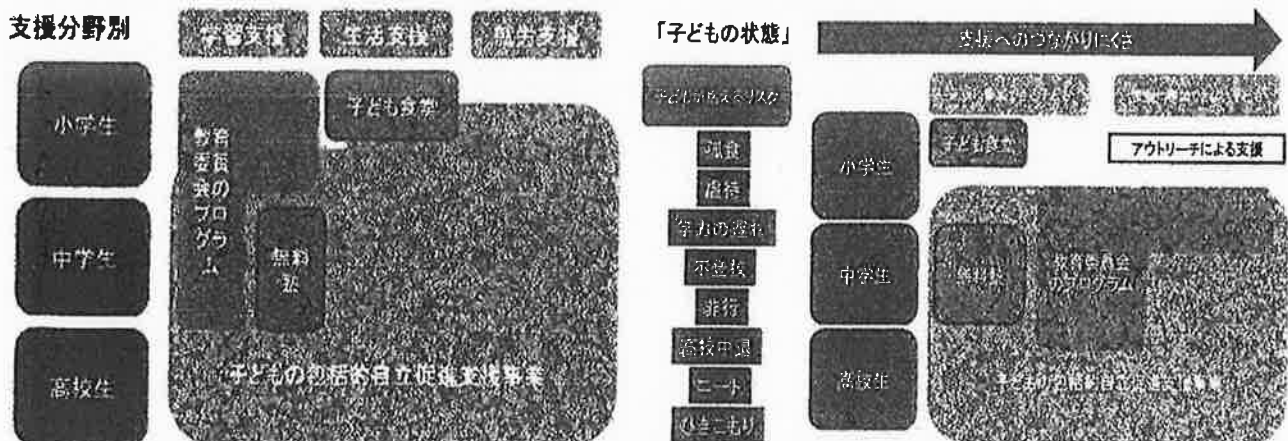


H23年、内閣府若者の意識に関する調査によると高校中退者のその後について「働いている」が56.2%だが、その内77.2%がフリーター・パートでの雇用となっており、厳しい労働条件での雇用となっている。

希望を感じられる世の中に
ちゅらゆい

4 事業の特色と意義

本事業では、単なる居場所の提供ではない「包括的自立支援」とし、それぞれの年代や家庭環境、所属のライフステージに応じて、横断的な支援をすることが最も重要だとしている。



○子どもが抱える課題が明確化している場合には、学習支援等の事業型支援が効果的である。しかし、本事業で対象とする子どもに対しては、まずは子どもや保護者と信頼関係を構築しながら、課題の整理、ニーズ把握に到達するまでのスモールステップを丁寧に設定し、支援を行うことが必要である。

希望を感じられる世の中に
ちゅらゆい

那覇市の小・中学校における不登校発生率

表1 「小学校」の不登校率（那覇市・沖縄県・全国）（単位：％）

年度	那覇市	沖縄県	全国
平成23年度	0.75	0.41	0.33
平成24年度	0.46	0.35	0.31
平成25年度	0.52	0.42	0.36
平成26年度	0.46	0.46	0.39

表2 「中学校」の不登校率（那覇市・沖縄県・全国）（単位：％）

年度	那覇市	沖縄県	全国
平成23年度	3.94	2.78	2.64
平成24年度	3.16	2.59	2.56
平成25年度	3.57	3.04	2.69
平成26年度	3.53	3.20	2.76

○那覇市の不登校発生率は沖縄県、全国平均を上回っている。

希望を感じられる世の中に
ちゅらゆい

那覇市の生活保護世帯の中学生 不登校発生率

表3 生活保護世帯の中学生の不登校児の割合（那覇市）

年度	生徒数	不登校児数	割合
平成25年度	313	61	19.49%
平成26年度	306	49	15.91%
平成27年度	295	82	27.80%

表4 県立高校の中退率（平成23年度）

	県立高校全体	全日制	定時制
中退者数（人）	930	648	246
中退率（％）	2.0	1.6	11.7

- 生活保護家世帯の中学生不登校発生率が高い。
- 定時制高校の中退率は全日制高校に比べ約7倍の中退率である。
- 高校中退後の就労は労働条件が悪くなる。

三菱UFJリサーチ&コンサルティング「子どもの貧困の社会的損失推計レポート」によると子どもの貧困を放置することによって生涯所得の合計が2.9兆円減少することが見込まれる試算されている。

希望を感じられる世の中に
ちゅらゆい

高校中退後の就職状況

高校中退者の就職率は65%



55400人中36010人が就職・・・19390人がニート化
 (高校中退者数平成22年度)

36010人の主な就職先

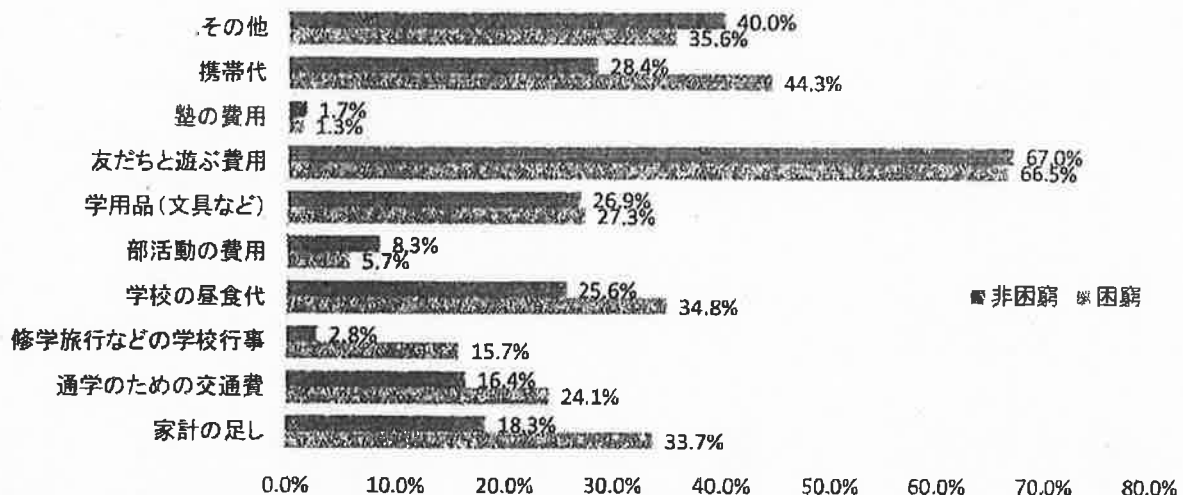
- ・アルバイトでの就労
- ・社会保険や雇用保険のない職場での労働
- ・学歴がないため給与が安い
- ・特に女子は性産業へと流れる
- ワーキングプア率の高い職業である。
- 不安定就労 64%・・・23050人
- 正社員採用 36%・・・12960人

子ども・若者への自立に向けたプログラムが必要

希望を感じられる世の中に
ちゅらゆい

沖縄県高校生調査(中間報告より)

アルバイト収入の使用用途(複数回答)



家計の足し・学校の昼食代にしている高校生は、困窮世帯では33.7～34.8%。交通費にあてている高校生も約4人に1人みられた。修学旅行などの学校行事では、困窮世帯と非困窮世帯で13%もの差異がみられた。

希望を感じられる世の中に
ちゅらゆい

事業目的
事業を取り巻く社会状況

○沖縄県による「子どもの貧困実態調査」・・・29.9%

支援の軸

- ①困りごとを抱えた子どもや保護者にアプローチする支援員の配置・・・100名
- ②子どもを直接支援するための居場所の設置・・・120カ所

平成28年度より

内閣府・・・沖縄子供の貧困緊急対策事業(1年10億円×6年)

沖縄県・・・子どもの貧困対策推進基金(30億円・6年)

→今年が2年目の年に当たる。

○3年前に那覇市「子どもの居場所作り事業」が終了し30人の子どもが路頭に迷った...

○5年後に予算が切れ、県内の事業が終わることがあってはならない。

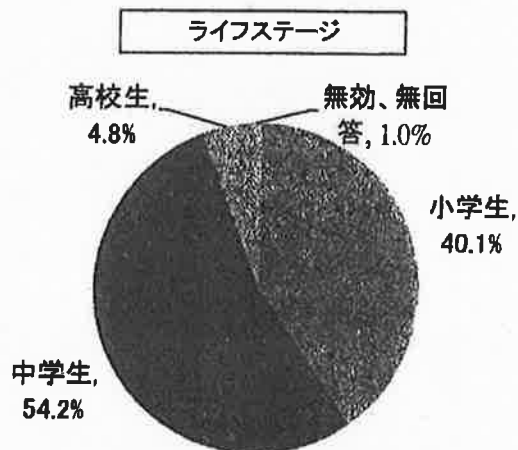
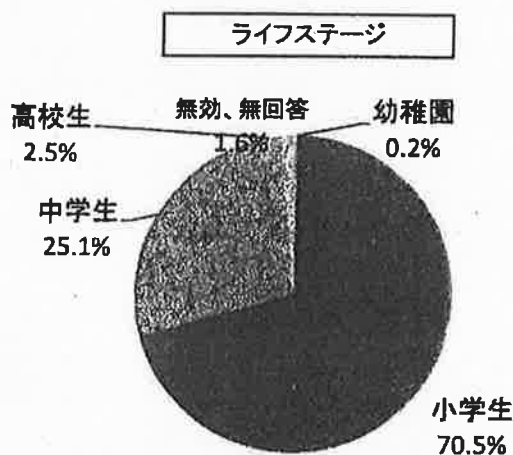
希望を感じられる世の中に
ちゅらゆい

沖縄県・・・ライフステージに応じた支援計画

「沖縄子供の貧困緊急対策事業・効果測定アンケート」より

居場所

支援員



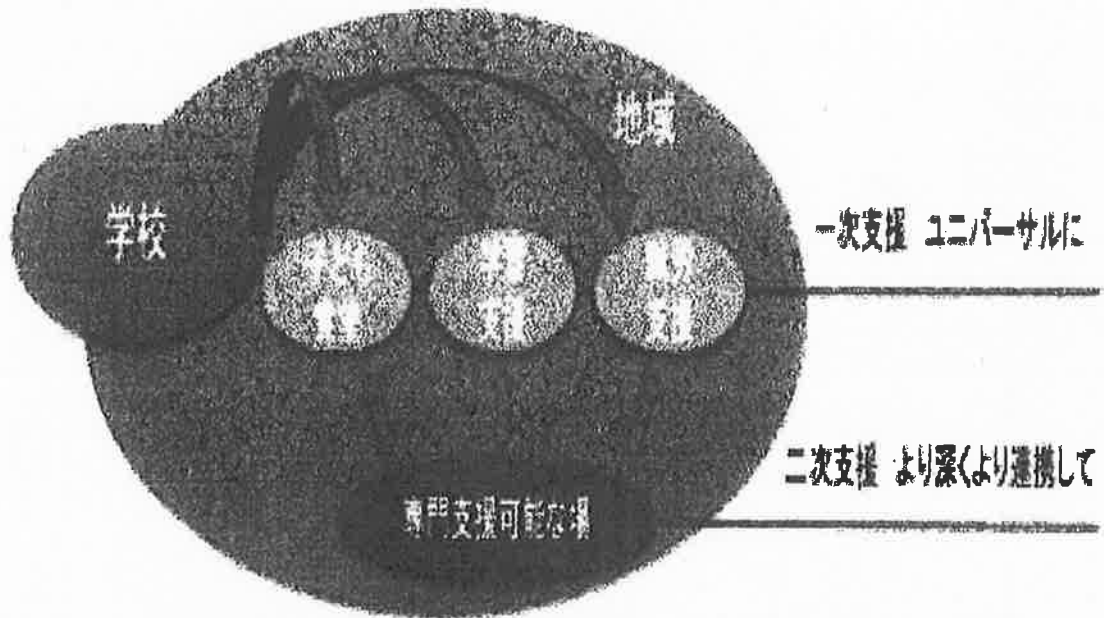
○高校生年代へのアプローチが少なすぎる。

→15歳～18歳は制度の狭間で支援がほとんどない。

→一方で将来の自立に向け課題が表面化するのが15歳以降である。

希望を感じられる世の中に
ちゅらゆい

居場所のあり方



- 一次支援・・・無料塾、子ども食堂、児童館等→子どもの育ちを応援する。課題が重篤化しないための予防の居場所
- 二次支援・・・ケア・支援型は課題が重篤化している子どもへの支援を目的とした居場所。専門的見地から子どもにアプローチしながら一次支援も実施する居場所。

希望を感じられる世の中に
ちゅらゆい

沖縄では、いじめや貧困が原因で学校に行けない子どもがクラスに1人の割合でいます。パーセンテージにすれば3%。問題は、この国には彼らに手を差しのべる「制度」がないことです。不登校で孤立した子どもは教育を受けられず、未来の可能性を奪われてしまいます。放っておけば、社会から引きこもる大人を増やすでしょう。私たちは、子どもたちが「ここにいていいんだな」と思える場所、そして自分の将来に希望が持てるようなスペースとしてkukuluをつくりました。

不登校の子どもたちは、毎日のなかであたたかな食卓を囲んでいないことがままあります。kukuluでは「まずはいっしょにごはんを食べよう!」ということを大事にしています。料理や学習、スポーツ、パソコン講習などを通して、「自分の居場所」「人と交流できる居場所」「社会との関わりにつながる居場所」づくりをしています。

kukuluの「今」をFacebookとホームページで発信しています。

まずは、ごはんを食べ
るおいでー!



kukulu



kukulu 那覇市委託時代

平成25年那覇市の委託事業として7月スタート

対象者…支援につながらない孤立状態の生活保護家庭の子どもたちがターゲット。

○利用者数(平成25年度、26年度実績 人数)

- ・31名(3年生18名、2年生9名、1年生4名)
- ・学校復帰した生徒…1名
- ・登校状況が改善した生徒…27名

○3年生の状況(18名) * 平成25年度、26年度実績

- ・高校への進学…16名 就職…1名 職業訓練…1名

○卒業後の状況

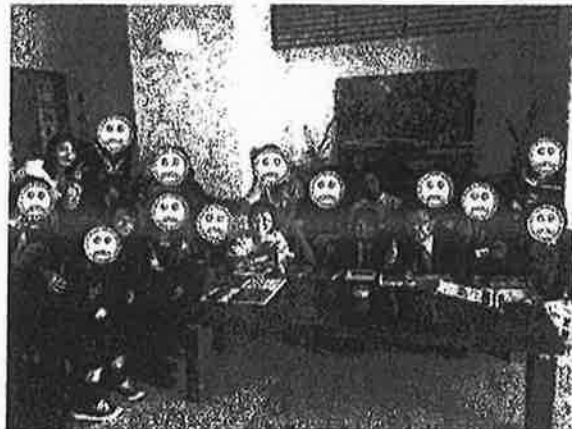
高校へ通学中…2名 就労…6名 不登校・休学…10名
 →不登校・休学の内6名は転入し登校中

★中高生への就学支援・生活支援・就労支援が急務の課題



希望を感じられる世の中に
 ちゅらゆい

平成27年3月 kukulu卒業式・閉所式



2年間でkukuluを利用した31名の子どもたちが、社会孤立状態になる。子どもたちに「必ずkukuluを復活させるから」と約束！

課題

- ・生活保護家庭で親の意識も低いため、受益者負担での事業実施が難しい。
- 運営費の捻出をどうするか？
- 今までの支援者としての経験だけでは子どもたちは守れない
- 子どもたちと一緒に考え、作る居場所ができないか？
- 市民をどのように巻き込むか？

希望を感じられる世の中に
 ちゅらゆい



すべての子どもに居場所を

kuku

自主事業kuku・・・社会孤立させない

対象者:13歳～18歳の不登校の子どもで主体的に支援につながらない層を対象にアウトリーチから居場所まで寄り添い型支援で事業を行う。また、生活保護世帯や生活困窮世帯の子どもも支援格差なくサービスが受けられるように無料で事業実施する。

どこにも
居場所がない
子どもがいる。

まずは、ごはんを
食べにおいで！

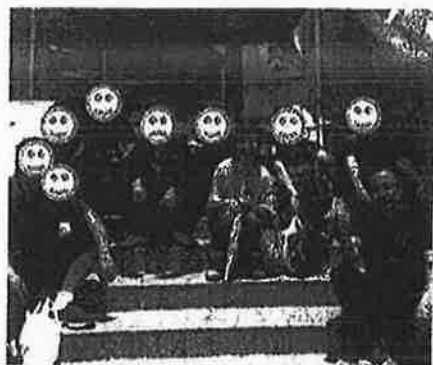
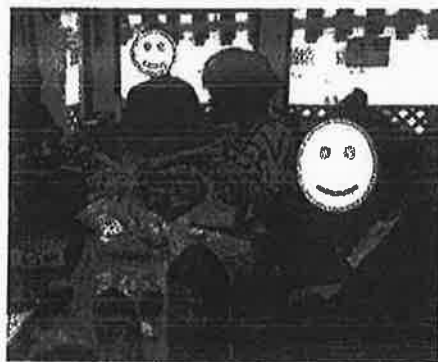


希望を感じられる世の中に
ちゅらゆい

kuku・・・寄り添い型の居場所

平成28年2月現在
助成金・・・275万円
寄付・・・300万3千738円

まずは、ごはんを
食べにおいで！



5月から8月までは、月1～2回程度の開催。
コミュニティーカフェを場借りし、食事の提供
を中心に居場所を提供した。

kukuがなくなったことで、再びひきこもつた
り、非行化が進んでしまった子どもたちもいた。



kukulu・・・寄り添い型の居場所 活動風景

まずは、ごはんを
食べにおいで！

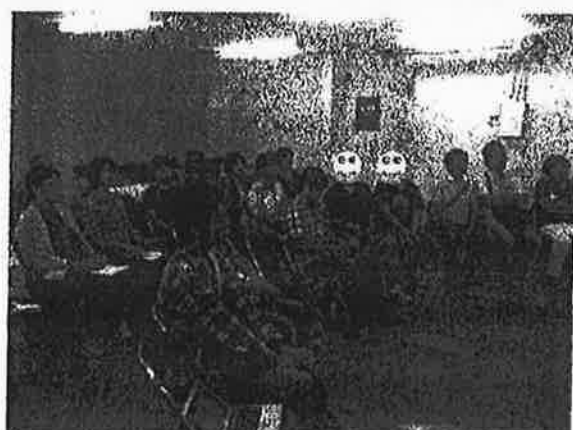


kukulu・・・市民の協働

まずは、ごはんを
食べにおいで！



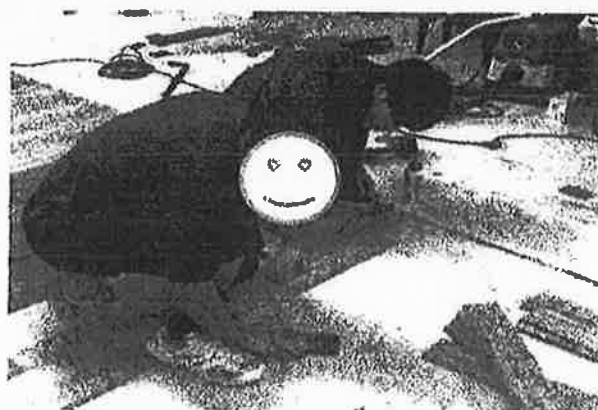
運営委員会



10月24日みらいファンド沖縄
kukulu円卓会議 47名参加

10月11日～12日kukuluワークショップ
延べ89名参加

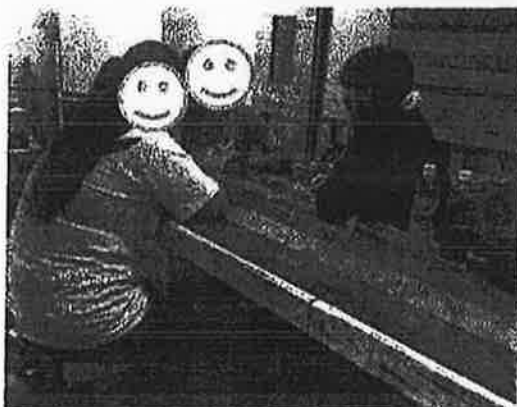
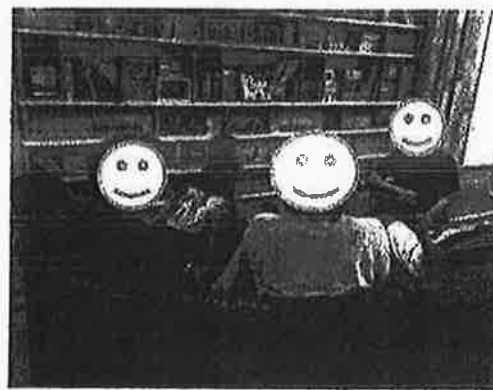
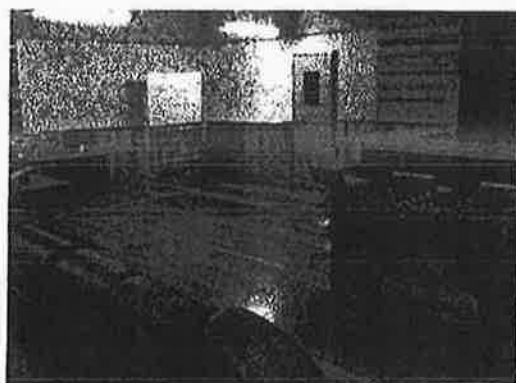
まずは、「ごはんを
食べるにおいで！



絆を感ぜられる世の中に
ちゅらゆい

kukuluは多くの市民や企業が寄付で支えてくれた。
そして子どもたち自身が居場所を作った。

まずは、「ごはんを
食べるにおいで！



絆を感ぜられる世の中に
ちゅらゆい

平成28年7月1日事業委託

那覇市委託事業 子どもの包括的自立促進支援事業
平成28年8月22日開所式

開所式の様子



希望を感じられる世の中に
ちゅらゆい

○基本理念

本事業では、当法人のビジョンである「子ども・若者の社会孤立ゼロ」のもと、以下の基本理念と居場所の基本方針、年齢層別の支援目的を設定した。

子ども一人一人が自尊感情を高めながら将来に希望を感じ、自立することで負の連鎖を断ち切り、社会保障制度のクライアントから社会を支える立場に立てるよう支援する 対処療法的支援にとどまらず、貧困の予防と人材育成に努め、マルチステークホルダーでの仕組みづくりに取り組む

居場所の基本方針

- ①すべての子どもが安心して過ごすことのできる居場所をつくる
- ②他者に認められ役割を担うことで自己肯定感が高まる居場所をつくる
- ③様々な経験やチャンスを活かし自己決定できる居場所をつくる

年齢層別支援目的

小学生: 不登校の重篤化を予防し、課題が複雑化する前に発見すること
中学生: 不登校による孤立を回避し、中学卒業後の進路を決定すること
高校生: 中退を予防し、大学進学や就労に向けた自立のための支援をすること
既卒生: それぞれの所属への定着と、より実践的な自立支援を行うこと

希望を感じられる世の中に
ちゅらゆい

kukuluスタイル・・・子どもの状況に応じた居場所

kukuluでは、場への定着が難しい子どもたちがターゲットとなる
 ○「目的優先型」(学習支援、学校復帰の適応教室等)の居場所ではなく
 ○場が子どもに柔軟に寄り添える「人優先型」の居場所

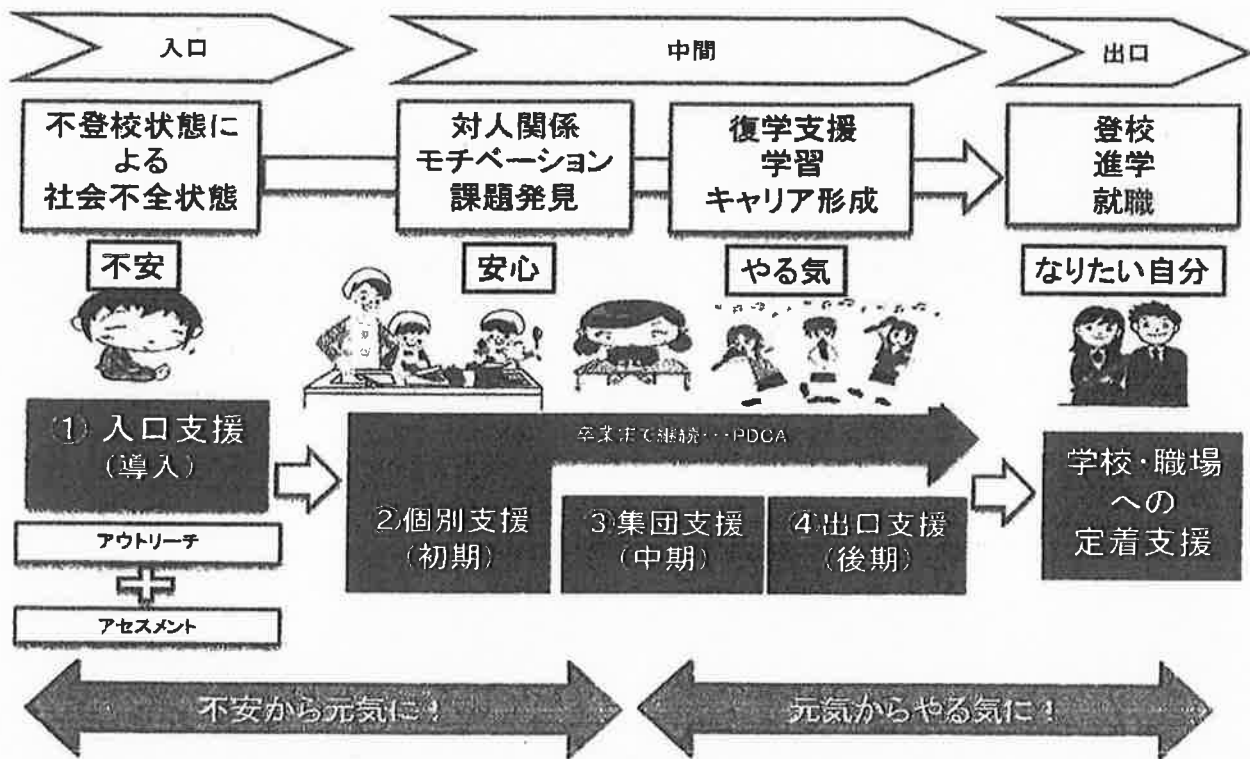


表9 在籍学校×性別

在籍学校/性別	男	女	総計
小学生	2	2	4
中学生	6	6	12
高校生	9	6	15
在籍なし	2	3	5
就労	2		2
不明		1	1
総計	21	18	39

【在籍学校】高等学校(5校)/中学校(8校)/小学校(3校)

【在籍高校一覧】泊定時制午前部/泊定時制夜間部/泊高校通信制/真和志高校/那覇商業定時制夜間部/首里中学校/寄宮中学校/那覇中学校/神原中学校/石田中学校/松島中学校/松城中学校/安岡中学校/識名小学校/曙小学校/開南小学校

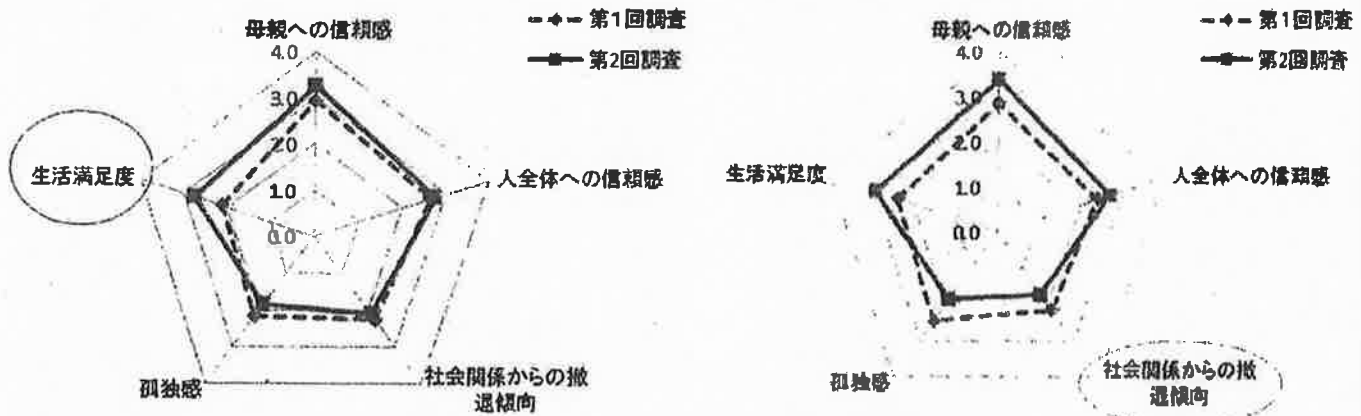


表 10 リファーマ先×定着困難度

リファーマ先×定着困難度	kukulu以前の支援機関数(か所)						
	なし	1か所	2か所	3か所	4か所	5か所	総計
保護管理課	2	2	2	2	1	1	10
寄り添い支援員							0
直接kukuluへ連絡	1			1			2
通所児童の紹介		2	2	1			5
民生委員		1					1
地域		1		2			3
医療機関	2						2
以前からの継続	2	8	5	1			16
総計	7	14	9	7	1	1	39

表 11 利用支援機関一覧

利用支援機関一覧	(人)	%
教育相談課「学習支援室(ていんぼう)」	2	5.1%
教育相談課「相談室(はりゆん)」	6	15.4%
教育相談課「自立支援教室(むぎほ学級)」貧困家庭	2	5.1%
教育相談課「自立支援教室(きら星学級)」遊び・非行	6	15.4%
教育相談課「適応指導教室(あけもどろ学級)」	2	5.1%
教育委員会/教室名不明	1	2.6%
無料学習塾	10	25.6%
学校内での支援	25	64.1%
その他(児童デイ等)	9	23.1%

表 12 インテイクの主訴

インテイクの主訴	(人)	%
学力の遅れ	38	97.4%
親の養育能力が低い	37	94.9%
生活リズムの乱れ	31	79.5%
非社会的行為	29	74.4%
家族の通院歴	25	64.1%
親の支援への関心が低い	19	48.7%
友人トラブル・いじめ	18	46.2%
通院歴	17	43.6%
引きこもり経験	13	33.3%
教員とのトラブル	10	25.6%
虐待・DV	10	25.6%
反社会的行為	10	25.6%
親戚の協力が得られない	8	20.5%
児童相談所等の保護、介入経験	7	17.9%
転校歴	7	17.9%
障がいの認定	6	15.4%
保護者との別居	3	7.7%

家族の人数・きょうだいの数

生活保護世帯ではきょうだい5人以上、最大で10人きょうだいという者がいる。生活困窮世帯では世帯構成に関わらずきょうだい数が1人～2人に留まり、世帯人数も5人以下となるのに対し、生活保護世帯の家庭では、二人親または二人親・三世同居パターンでは世帯構成が5人以上となる割合が高く、多子世帯であることが特徴的である。現在、通所する子どもうち、居場所内にまずは1人がつながり、その後きょうだいを伴って通所に繋がっているケースが3世帯ある。彼らはお互いが「声かけ」をしあい一緒に通所することで持ち直したり、逆に下の兄弟の来所が滞ると「家にきょうだいを置いていくことが難しい」として来所回数が減るケースもある。

表 14 世帯区分×きょうだい数

世帯区分×きょうだい数	きょうだい数(人)								総計(人)
	1人	2人	3人	4人	5人	6人	10人	不明	
生活保護	6	5	7	4	1	4	3		30
	20%	17%	23%	13%	3%	13%	10%		
生活困窮	4	3		1				1	9
	44%	33%		11%				11%	
総計	10	8	7	5	1	4	3	1	39
	26%	21%	18%	13%	3%	10%	8%	3%	

○生活困窮世帯の発見が仕組み化されていないことが課題である。

生活支援 食育



コミュトレ



学習支援



プレ入試



学校見学会(真和志高校、南部農林高校、ポリテク)



総合的な学び
スポーツ



バドミントン(那覇市支援員との交流)



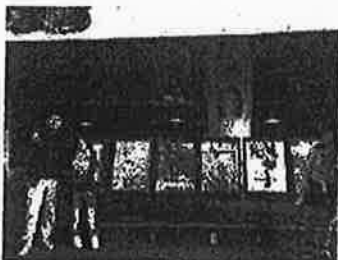
アイススケート



総合的な学び
技術、家庭科 木工教室



映画鑑賞

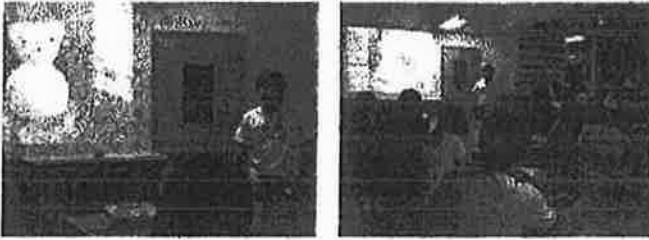


防災街歩き



キャリア教育、就労支援

職業人講話



お弁当販売体験



キャリアEXPO参加

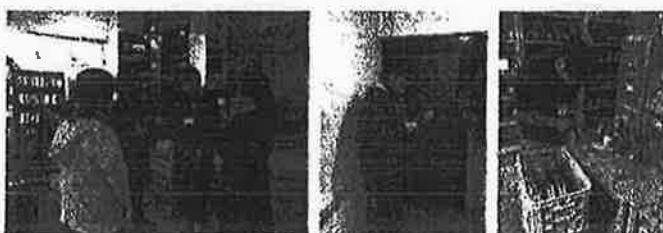


キャリア教育、就労支援

職場見学(琉球食糧)



桜坂劇場での実習



なつさん 15歳女子…どんな場にも定着できない

- ・母親から相談を受けアウトリーチを実施。
- ・最初の訪問では母に促されて渋々面談に応じる。
- ・学校は行きたくない、高校進学もしたくないと自分の将来に対して絶望していた。



高校進学に向けて情報を集めるEさん

- 数回の訪問で信頼関係を作りながら面談を重ねた結果、「対人関係が苦手なので克服したい」「私にも行ける高校があるなら進学したい」と前向きな発言に変わっていった。
- スタッフ間で検討し、最初は母親同行の短時間通所をスタート。約半年たった現在では、モノレールに乗って一人で通所するまで回復している。
- 学校とも協議を行い出席扱いが可能になり、課題提出や高校受験に向けてがんばっている。
- Dさんに対する医療機関や福祉専門職の見立ては、重度のひきこもりで外出は難しく、教育委員会の事業や福祉事業所へも見学のみで定着に至らなかったため、kukuluへもリファーされなかったケースである。

現在のなつさんの様子…VTR

今後の課題

- ①多様な出口を確保する…多様な進路選択
大学・専門学校への進学も視野に入れた出口の多様性を確保すること。
- ②コレクティブハウスでの住空間の確保…暮らし方
様々な理由で自立が困難な高校生年齢の子どもに対する共同生活型での生活空間の確保が必要である。
- ③企業との職業マッチング…働き方
現在、沖縄県中小企業家同友会と事業連携について協議中である。今後は子どもと企業のマッチングに尽力したい。



社会孤立ゼロ 青少年の孤立を許さない

NPO法人沖縄青少年自立援助センターちゅらゆい

法人本部 〒904-2213 沖縄県うるま市田場1641-1

那覇支部 〒900-0021 沖縄県那覇市牧志3-6-41島商会ビル2階

TEL/FAX 098-923-0697

メール commutto@joy.ocn.ne.jp

法人HP <http://www.churayui.org>

kukuluブログ <http://kukulu-re2sch.blogspot.jp>

資料購入費

- 【項目】 調査研究費 研修費 広報費 広聴費 要請・陳情活動費
 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費

領収証 2017年 5月19日 No. [Redacted]
 中村 圭介 様

金額 ¥2,484-
 (内 クレジットカード利用計 ¥2,484 (内消費税等 ¥184))

但し 書籍代として

上記金額正に領収いたしました。
 (株)丸善ジュンク堂書店 那覇店
 〒900-0013 沖縄県那覇市牧志1-19-29ディーナハB1F~3F
 098-860-7175

2017/5/19 ¥2,484

領収証 2017年 8月17日 No. [Redacted]
 中村 圭介 様

金額 ¥2,700-
 (内 現金扱い等計 ¥2,700 (内消費税等 [Redacted]))

但し 書籍代として

上記金額正に領収いたしました。
 (株)丸善ジュンク堂書店 那覇店
 〒900-0013 沖縄県那覇市牧志1-19-29ディーナハB1F~3F
 098-860-7175

2017/8/17 ¥2,700

領収証 2017年10月17日 No. [Redacted]
 中村 圭介 様

金額 ¥11,340-
 (内 クレジットカード利用計 ¥11,340 (内消費税等 ¥840))

但し 書籍代として

上記金額正に領収いたしました。
 (株)丸善ジュンク堂書店 那覇店
 〒900-0013 沖縄県那覇市牧志1-19-29ディーナハB1F~3F
 098-860-7175

2017/10/17 ¥11,340

明細書の添付あり

- 【項目】 調査研究費 研修費 広報費 広聴費 要請・陳情活動費
 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費

領収証

2017年12月 8日 No. [Redacted]

中村 圭介 様

金額 ¥5,896-

(内 クレジットカード利用計 ¥5,896 (内消費税等 ¥436))

但し 書籍代として

上記金額正に領収いたしました。
榎丸善ジュンク堂書店 那覇店
〒900-0013 沖縄県那覇市牧志1-19-29ディーナハB1F~3F
098-860-7175

領収証

2018年 3月15日 No. [Redacted]

中村 圭介 様

金額 ¥22,356-

(内 クレジットカード利用計 ¥22,356 (内消費税等 ¥1,656))

但し 書籍代として

上記金額正に領収いたしました。
榎丸善ジュンク堂書店 那覇店
〒900-0013 沖縄県那覇市牧志1-19-29ディーナハB1F~3F
098-860-7175

明細書の添付あり

按分率 %

充当額 28,252 円

